



## ● 今月の主な内容

【特集】 想い ~三重津海軍所跡の世界遺産登録に向けて~ 2

写真で見る地域情報 4

平成25年度 チカラット支援金（補助金）の  
交付結果報告 20

おしらせ 22 こどものページ 28

イベント案内 32 7月の相談コーナー 34

2016年熱気球世界選手権の  
名刺台紙を使ってPRにご協力ください  
この夏は、街なかでイベントを楽しもう！ 36

## 「さかのわ」を ご存じですか？

「さかのわ」は三重津海軍所跡の世界遺産登録に向けた活動を行う大学生まちおこしグループです。

特集では三重津海軍所跡に熱い「想い」を寄せる団体にスポットを当てています。

写真：世界遺産フェスタ2014会場にて



**博愛の里  
中川副まちづくり協議会  
歴史・伝統部会**

博愛の里 中川副まちづくり協議会は、自治会をはじめとする各種団体が連携し、校区の目標や課題について話し合い、活動する場として

今年3月に発足した。

その中で、三重津海軍所跡の世界遺産登録へ向けた取り組みを行っているのが、歴史・伝統部会である。

部会長の副田峰子さんは「私たちは三重津の地の清掃活動が最も大事だと考えています。イコモスの調査が今年夏から秋に迫っていることもありますが、そもそも世界遺産に登録しよう



世界遺産フェスタ2014での清掃活動

としている場所が汚くは、訪れた人を歓迎しているとはいえませんから。」という。

また、部会のメンバーは三重津海軍所跡や川副町の歴史の勉強にも余念がない。

「世界遺産に登録されようとしている三重津海軍所跡の歴史を自分たちが知らないのはおかしいですからね。」と副田さん。

部会の今後の目標は、地域住民全体に清掃活動の輪を広げていくことだ。

最後に副田さんは「三重津海軍所跡で見る朝日や有明海の干満の差は本当に素晴らしいです。この記事を読んだ人に三重津の地に足を運んでいただいて、三重津の地に立っていただけたらと思います。明治の夜明けをきっと体感していただけたらと思います。」と笑顔で語ってくれた。



歴史・伝統部会ではメンバーが三重津海軍所跡の勉強で熱い議論を交わしていた

企画・編集 本庁 秘書課 広報係  
☎40・7021 FAX24・3463



# 想

## い 〜三重津海軍所跡の 世界遺産登録に向けて〜

佐賀市は、三重津海軍所跡（川副町・諸富町）を構成資産とする『明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域』の世界遺産登録に向けた取り組みを行っている。

今後の登録までの流れは、今年夏から秋に世界遺産記念物遺跡会議（イコモス）の現地調査が行われ、その調査をもとに、2015年の世界遺産委員会での世界遺産登録の可否が判断される。

イコモスの現地調査の結果は世界遺産登録に大きな影響を与える。

調査では遺跡の価値はもともと、地元の盛り上がりや遺跡への関心の高さなど大きな判断材料となる。

そこで、もっと多くの人に三重津海軍所跡への関心を高め、ほしいとの思いから、三重津海軍所跡の世界遺産登録に向けた活動を行っている3団体を紹介したい。

### 大学生まちおこしグループ「さかのわ」

「さかのわ」は佐賀大学生 11 人で構成される団体で、メンバーは、水色の爽やかなポロシャツを身に付けて活動を行っている。

「さかのわ」の結成は平成 24 年4月にさかのぼる。昨年まで8人だったメンバーも、今年はチラシ配りなどの



広報活動を精力的に行った結果、3人の心強い新メンバーが加入した。

メンバー全員が地道に活動することの大切さを改めて実感したようだ。

「さかのわ」にとってのメインイベントは、「世界遺産フェスタ」と「佐賀市キッズ歴史フォーラム」だ。

毎週土曜の午前中に、これらのイベントに出場する団体との交渉をしたり、交渉の進捗状況をメンバー間で確認したりして活動している。

5月6日（火・振）に開催された世界遺産フェスタ2014では、ステージ担当として、フェスタの盛り上げに貢献していた。

「さかのわ」の若いパワーが、三重津海軍所跡の世界遺産登録にとって大きな力になることは間違いなさだろう。

### 「さかのわ」からのメッセージ

「世界遺産の登録に向けて、特に若い世代の人に世界遺産のことや私たちの活動について知ってほしいと思います。皆さん、来年1月25日（日）に佐賀大学で開催を予定している佐賀市キッズ歴史フォーラムにぜひ足を運んでみてください。きっと楽しんでもらえると思います。皆さんと佐賀市キッズ歴史フォーラムで会えるのを心から楽しみにしています。」



昨年の佐賀市キッズ歴史フォーラムでの三重津海軍所跡の劇

### 史跡三重津海軍所跡保全会

史跡三重津海軍所跡保全会は、川副町内の自治会、漁協、商工会、小学校、老人クラブ、市・県議会議員などで構成される団体だ。

世界遺産登録に向けて、地元の盛り上げを高めるために、世界遺産フェスタの運営、遺跡周辺の清掃活動、各地域（川副町・諸富町）で三重津海軍所跡の歴史を



知ってもらおうための住民向け勉強会（佐賀市と共同開催）などを行っている。

史跡三重津海軍所跡保全会会長の島内敬信さんは「地域住民の盛り上がりは確実に高まっている。」という。

今年4月、あいにくの雨の中で開催された清掃活動には100人超の参加があり、世界遺産（登録）に対する地元の気持ちの結果を感じたようだ。

島内さんは「市民の皆さんにもっと三重津海軍所跡への認識と関心を深めてもらいたいものです。三重津海軍所跡は世界に誇れる郷土の遺産です。ぜひ二度足を運んでみてください。」と話す。